



森ボラ 通信

第78号 2008年11月20日発行

NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 活動報告 10月17日アイケンの森 踏査報告

札幌市森林組合から頂いた森林調査簿の40,41小班はアイケン工業の所有でないとの事でアイケン岩本社長より2500分の1の登記用地図をいただき踏査した。

40小班の間伐地は間違いで所有者に陳謝しここでの間伐作業は中止します。踏査地には規模は小さいが間伐すべきカラマツ林がありました。(記、酒井)

◆ 芸術アートマーケット2008に出展

会場をサッポロファクトリーに移し開催。気温17℃・曇り・総出展数45店。

我が森ボラ店は道路を背に車の開閉音、ブレーキ音などの雑多な音を背中に聞きながら2m四方と決められた場所にテーブルを置き作品をびっしり並べて開店です。

通路側には手に取ってみることは出来ますが奥の方は目で追うだけです。手に取って木の温もり・アイデアなどを感じて欲しかったです。立寄ってくださるお客様は主婦、ご夫婦連れが多かったのですが積極的に質問されるのはやはり男性でした。

フリーマーは開催する場所によってお客の層が変わります。今回のファクトリーは若い女性が多かった様に思います。

会場でスプーンの要望が二件ありました。

総出展数250点・販売数47点・総売り上げ16,430円。(記、杉本則)

◆ 活動報告 10月31日

アイケンの森・澄川の森 参加者14名

秋も深まり好天のうちにいろんな残仕事をした。

1 薪作り

アイケンの森にて一年かけて切り出しから行ってきた薪つくりの最後の束ね作業を行った。約600束が完成した。

2 炭の窯出し

10月22日に焼き24日に宮の森中学校の生徒が14名で来た時に窯明けの予定が雨でできず澄川に移動して行った。過去5回のうち最高のできで土嚢袋に18個できた。火入れの時の石川さんの祝詞が良かったためとの説が多かった。

3 台地の植栽

中学生はカミネッコン植栽のみで残りのポット苗広葉樹20本を植栽しテープ目印をした。台地の植栽は250本ほどになった。(記、酒井)



バイオヤナギのペレット試作

9月3日(水)北海道林産試験場にて山田科長(物性利用科)のもとで実施(3名)。

地球温暖化防止の一環として、南幌でバイオヤナギの試験栽培を行っているが、今回はヤナギを化石燃料代替として使用する場合のペレット化が可能かどうか試作した。

ペレットの成型機にはリングダイ式(図1)とディスクダイ式(図2)があり、

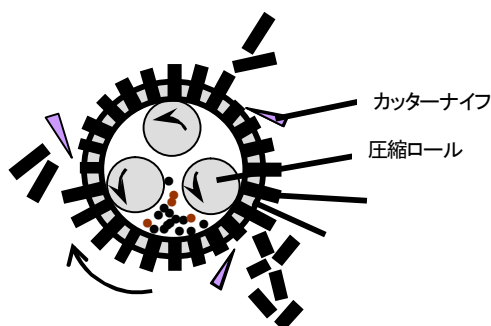


図1 リングダイ式ペレタイザー

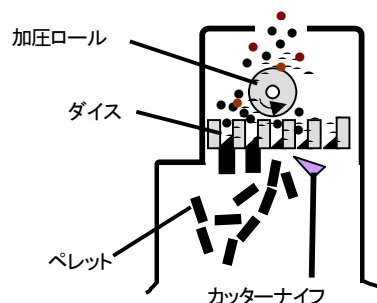


図2 ディスクダイ式ペレタイザー



前者が実用機の主体をなしている。試験場のテスト機は後者のタイプで、穴径6mmのダイスにおが粉状のチップを粉砕しながら加圧・圧縮して通し、その際発生する熱(約70℃)で木材成分の一つであるリグニンを軟化させ、接着剤の役目をさせてペレットを成型する。

試験したヤナギのチップは、今年の4月19日アイケンの森で採取した葉付の枝条を結束し、天日で自然乾燥させ、8月2日チップパーで一次粉砕したものである。そのままでは大きすぎるので試験場でおが粉状に二次粉砕し試料とした。

まず、山田科長がお手本を示し、おが粉状のチップをペレタイザーにフィード、当初は木粉のみであったが、次第に固まりだし2~3分後にはペレットが安定して出て来る様になった。

選手交代で我々がするとチップのフィード量が少なく木粉しか出てこなかったり、逆に多すぎてダイスを詰まらせたりとトラブッタが骨をつかむと安定し全部で約10kg作ることが出来た。

実機では自動フィーダーで投入するのでこれらの失敗は発生しないと思われる。なお、山田科長の話では今回のヤナギは密度0.36g/cm³で出来るか心配したが、水分は約20%あり更に樹皮が適度に入っておりペレット化し易いとのことで目的を達成することが出来た。ただ乾燥中に変色したため、酒井代表の期待した緑色ペレットには成らなかった。山田科長、北見工業大学の三木氏によると、ヤナギのペレットは水分10%弱、密度1.1~1.2g/cm³、嵩密度0.6g/cm³、総発熱量4,100~4,400kcal/kg程度であり、総発熱量は樹皮の入っているほうが5%ほど高い。市販されているペレットの種類は大まかに分けて

種類	ホワイトペレット	グレーペレット	ブラックペレット (パークペレット)
原料	木質	木質+樹皮	樹皮
灰分(%)	0.1~1	0.5~3	2~7
発熱量(kcal/kg)	4,300~4,700	4,000~4,500	4,000~4,300
クリンカー	出来ない	出来難い	出来易い

である。一般的に輸入ストーブはホワイトペレット仕様で、国産にはブラックペレット対応のストーブもある。

ペレット燃料の特長は

- ・ 環境にやさしい。
- ・ 形状、水分が安定しており自動連続運転に適している。
- ・ 輸送が容易。
- ・ 長期保存ができる。(カビなどが生えない)
- ・ ガス、石油、電力より取り扱いが不便であるが薪等より便利である。
- ・ 価格は昨今の石油高のなか対応できるか?

皆さん、ペレットの価格がどの程度だと対応できるか試算してみてください。

灯油 比重 0.8g/cm³、11,000kcal/kg 価格 79 円/L(コープさっぽろ 11/17 現在)

バイオヤナギのペレットが普及するかは、ペレット化の全工程(乾燥、粉碎も含む)で使われるエネルギーが、出来たペレットの持つエネルギーの 18~35%も占めており、これをいかに省エネし価格的に対応出来るかである。

機会があれば栽培したバイオヤナギがどの程度になるか検証してみたい。(記、和田)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・棟方・和田

連絡事項

- ① 11月から新幹事として市山さんが加わり 11名体制となりました。
- ② 道庁赤レンガ前で実施されました「道民森づくりネットワークの集い」及び「ポスターセッション」に多数の参加をいただきました。お手伝い対応を含め有難う御座いました。
- ③ りんご園活動は 11月 6日をもって本年度の作業を終了しました。
- ④ 王子製紙株からヤナギ挿し穂の追加提供を受けて、当別町青山に挿し穂しました。南幌ヤナギ圃とアイケンの森と共に生育比較をしていきます。
- ⑤ 宮の森中学校森林学習を実施しました。生憎の雨でしたが生徒からの礼状が届いています。
- ⑥ 「木の里親募金」2件、有難う御座いました。
○比布町立中央小学校児童会本部。
○北都システム(株)と同社社長(大庭浩司様)。(事務局)

■ おしらせ

◆ 忘年会を実施します。

とき：12月 10日(水)~11日(木)・1泊2日

会場：登別カルルス温泉「ホテル岩井」

登別市カルルス町 27(電話 0143-84-2281)

湯澤さんの「タケノコ」が当たる…かもよ!!

会費：11,000 円/人(宴会費を含む)

集合場所：NHK 会館南広場(大通り側)・午前 9時 50分(時間厳守)

参加申込：11/月 30日必着(活動参加申込書にて)

幹事：杉本・市山・佐野



活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
11月17日(月)	杉本邸	11名	木工
11月15日(土)	澄川の森	20名	苗畑メンテ・冬仕舞い
11月11日(火)	りんご園	9名	収穫祭
11月10日(月)	幹事会	10名	
11月6日(木)	モデル事業研修	2名	石狩支庁研修
	りんご園	11名	収穫
11月5日(水)	りんご園	6名	収穫
	アイケンの森	6名	除間伐
10月31日(金)	アイケンの森・澄川の森	14名	薪づくり・炭の窯だし
10月30日(木)	杉本邸	8名	木工
10月29日(水)	栗山町王子研究所	3名	ヤナギ採穂
	当別町青山	5名	ヤナギ挿穂
10月25日(土)	道庁赤レンガ	13名	道民森づくりネットワークの集い
	りんご園	3名	収穫
10月24日(金)	澄川の森	8名	宮の森中学校森林学習
10月23日(木)	澄川の森	11名	炭焼
10月22日(水)	澄川の森	12名	炭焼(野営対応)・ごみ拾い活動
	りんご園	1名	収穫
10月21日(火)	りんご園	9名	収穫
10月18日(土)	りんご園	8名	収穫

ひとこま

◆ 伐木等(チェーンソー)の業務に係る特別教育講習に参加して

9月25日、26日「森林ボランティアと創る石狩の豊かな里山モデル事業」(主催石狩支庁産業振興部)の一環としてチェーンソーの技術研修に2日間参加して来ました。参加者は20名(内女性3名)森ボラからは和田さんと市山の2名でした。



講師は(社)北海道林業機械化協会理事・北川建雄氏から二日間懇切丁寧なご講義に加え、経験豊富な周辺情報も大変興味深く聞けました。

一日目は学科でかでの2・7で行われ、テキストは“伐木作業安全衛生日必携”と“かかり木処理作業の安全”の2冊で6時間の授業は睡魔との闘いでした。二日目は実技。白旗山の森林計画対象民有林に場所を移し、二人に一台のチェーンソーを持って玉切、受け口、追い口、突っ込み切り等の練習を行い、主に駄目だしの部分の指摘をされました。また実際に立木(カラマツ)を使っての実践訓練では伐倒方向、刃を入れるときの姿勢、受け口、追う口の正しい操作等、細かな技術指導は現場での作業に役に立つと確信しました。最後に使用機械整備の大切さを学び二日間の講習を終わりました。

今回の研修に参加して一番感じた事は、普段我々のやっている動作、機械の操作を含めた利用方法等に於いて基本的な勘違いとか、習慣的思い込みが多々あることに反省させられました。勿論専門知識の向上や技術の習得に役立つことは言うまでもありません。我が協会から多くの人が継続的に受講することで底辺拡大になると思います。

特に女性の参加の望まれるところです。ちなみに今回の参加女性でチェーンソーの操作をするのが始めての方もおられました。(記、市山)